ONKYO

コンパクトディスクプレーヤー

# C-773

# 取扱説明書



お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

# 主な特長

■デジタル信号からピュアなアナログ信号を生成する回路、「VLSC*（Vector（ベクター） Linear（リニア） Shaping（シェーピング） Circuitry（サーキットリー））」を搭載し、飛躍的な音質向上を実現

■高精度クロック発信器を採用
■192kHz/24Bit D/A コンバーター搭載

■デジタル回路とアナログ回路それぞれに専用電源回路を搭載
■デジタルサーボを採用、ディスクごとに最適値のサーボ量を自動調整

■デジタル端子として OPTICAL（オプティカル）（光）と COAXIAL（コアキシャル）（同軸）をそれぞれ 1 系統

■MP3 CD 再生可能

■振動に強く剛性の高いシャーシを使用

■着脱式の極太電源コード

*VLSC はオンキヨー株式会社の登録商標です。

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。

**音のエチケット**

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

# 目次

## はじめに



## 接続をする



## 再生する



## いろいろな再生



## 設定をする



## その他

# 安全上のご注意
## 安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

**電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。**
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

### 「警告」と「注意」の見かた
間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。
誤った使いかたをすると、

けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

### 絵表示の見かた
△ 記号は「ご注意ください」という 内容を表しています。

高温注意
感電注意

⊘記号は「〜してはいけない」という 禁止の内容を表しています。

分解禁止
ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く　必ずする

## ⚠ 警告

### 故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く
電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

### カバーははずさない、分解、改造しない
分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

### 接続、設置に関するご注意
**■放熱を妨げない**

禁止

- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
（本機の天面から 2cm 以上、背面から 5cm 以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

**■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない**

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

### 電源コード・電源プラグに関するご注意
**■電源コードを傷つけない**

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

**■電源プラグは定期的に掃除する**

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

# ⚠ 警告

## 使用上のご注意

**■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない**

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機の通風孔、ディスクトレイから異物を入れない

**■ディスクトレイに手を入れない**

指のけがに注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

**■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない**

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

**■レーザー光源をのぞき込まない**

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

**■雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、電源プラグに触れない**

接触禁止

感電の原因となります。

## 電池に関するご注意

**■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない**

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れる

**■電池から漏れ出た液にはさわらない**

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

# ⚠ 注意

## 接続、設置に関するご注意

**■不安定な場所や振動する場所には設置しない**

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

**■本機の上に 10kg 以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない**

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったりしないでください。

**■配線コードに気をつける**

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

## 電源コード・電源プラグに関するご注意

**■表示された電源電圧(交流 100 ボルト)で使用する**

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

**■電源コードを束ねた状態で使用しない**

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

### ■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

### ■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

### ■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

### ■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

### ■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

## 使用上のご注意

### ■音量に注意する

必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

### ■長時間大きな音でヘッドホンを使用しない

禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

### ■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

## 移動時のご注意

### ■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

### ■本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。

### ■機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をお勧めします。
本機の内部にほこりのたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

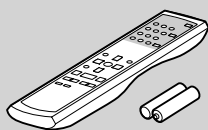
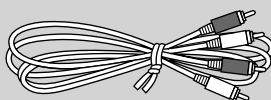
### ■本機のお手入れについて

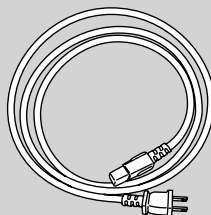
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

# 箱の中身を確認する

## 付属品

- ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（　）内の数字は数量を表しています。

●リモコン（RC-686C）... (1)
●乾電池（単３形 R6）....... (2)

●オーディオ用ピンコード（1m）...(1)

●電源コード（2m）.......(1)

●RIケーブル（80cm）..... (1)

RI端子付きオンキヨー製品とのシステム接続をするケーブルです。（RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。）

●取扱説明書 .................(本書 1)
●保証書 ..................................(1)
●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内 ...........(1)
●ユーザー登録カード...........(1)

# 本体、リモコンボタンの名前と働き

## 前面パネル

〔　〕内のページに主な説明があります。

① POWER（パワー）スイッチ〔15〕
ON（オン）の位置にすると、本機の電源がオンになります。
OFF（オフ）の位置にすると、本機の電源がオフになります。
お買い上げ時は、OFF の状態になっています。

② REPEAT（リピート）ボタン〔24〕
リピート再生や 1 曲リピート再生を設定します。

③ DISPLAY（ディスプレイ）ボタン〔17、20〕
表示部の表示を切り換えます。

④ ディスクトレイ〔16〕
ディスクをセットします。

⑤ ▲（オープン／クローズ）ボタン〔16〕
ディスクトレイを開閉します。

⑥ ⏮/⏭ ボタン〔16〕
前後の曲を選びます。再生中に押し続けると、再生を早送り、早戻しします。
MP3 ディスクのときは、ナビゲーションにも使用します。

⑦ リモコン受光部〔11〕
リモコンからの信号を受信します。

⑧ 表示部
次ページをご覧ください。

⑨ ‖（ポーズ）ボタン〔16〕
再生を一時停止します。

⑩ ■（ストップ）ボタン〔16〕
再生を停止します。

⑪ ►（プレイ）ボタン〔16〕
ディスクを再生します。

⑫ PHONES（フォーンズ）端子
標準プラグのステレオヘッドホンを接続します。

⑬ PHONES（フォーンズ） LEVEL（レベル）つまみ
ヘッドホンの音量を調整します。右に回すと音が大きくなり、左に回すと小さくなります。

# 本体、リモコンボタンの名前と働き

## 表示部

① ▶ 表示
ディスク再生時に点灯します。

② ▮▮ 表示
一時停止中に点灯します。

③ MP3 表示
MP3 CD をセットしているときに点灯します。

④ TITLE 表示
MP3 ファイルのタイトル名（ID3 タグ）を表示しているときに点灯します。

⑤ GROUP 表示
MP3 ディスクの中のグループ番号を表示しているときに点灯します。

⑥ TRACK 表示
ディスクの再生トラック、総トラックなどを表示しているときに点灯します。

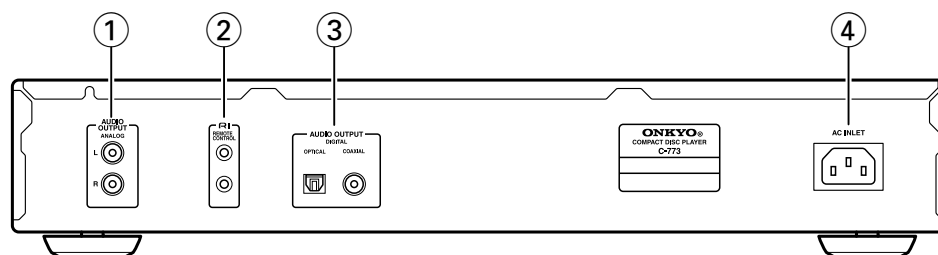
⑦ TOTAL REMAIN 表示
音楽用 CD を再生中に曲の残り時間が表示されているときは「REMAIN」が、ディスクの残り時間が表示されているときは「TOTAL REMAIN」が点灯します。

⑧ RANDOM 表示
プレイモードがランダム再生に設定されているときに点灯します。

⑨ MEMORY 表示
プレイモードがメモリー再生に設定されているときに点灯します。

⑩ ⊂⊃ 表示
リピート再生が設定されているときに点灯します。

⑪ 時間表示部
ディスクの再生時間、残り時間、グループ番号（フォルダ番号）、タイトル名などを表示します。

## 後面パネル

① AUDIO OUTPUT（ANALOG）端子
付属のオーディオ用ピンコードを使って、アンプなどのアナログ音声入力端子と接続します。

② RI REMOTE CONTROL 端子
RI端子のあるオンキヨー製アンプなどと接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけでは連動しません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

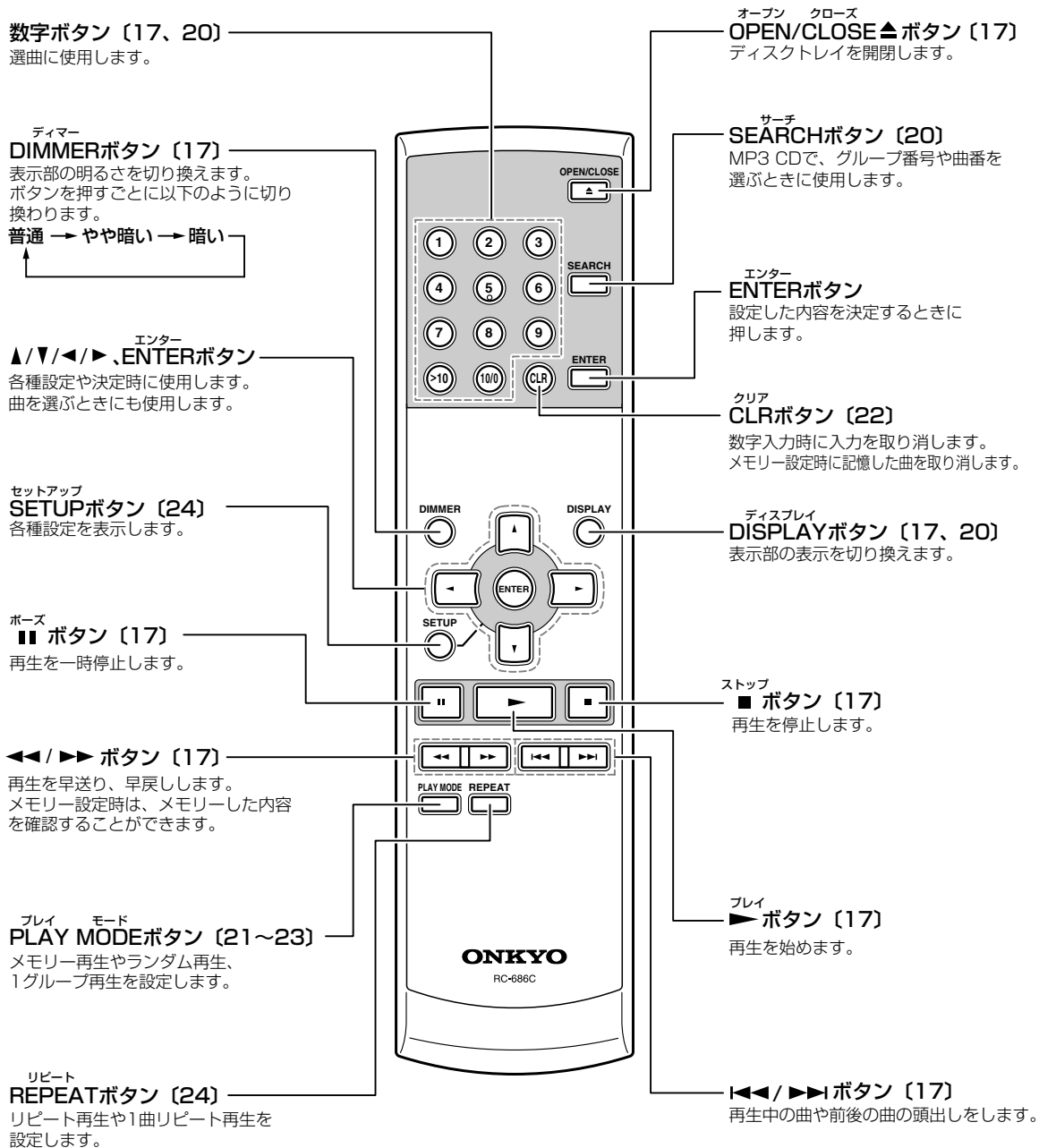
③ AUDIO OUTPUT DIGITAL（OPTICAL/COAXIAL）端子
OPTICAL 端子は市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使って、COAXIAL 端子は市販の同軸デジタルケーブルを使って、録音機器やアンプなどのデジタル音声入力端子と接続します。2 つの端子は、同じデジタル音声を出力します。

④ AC INLET
付属の電源コードを接続します。

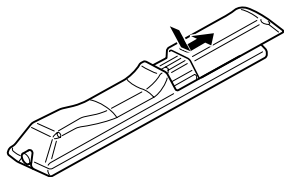
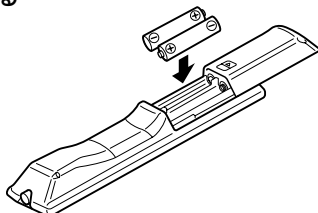
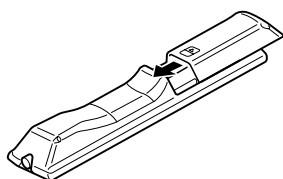
**接続については、14、15 ページをご覧ください。**

# 本体、リモコンボタンの名前と働き

## リモコン

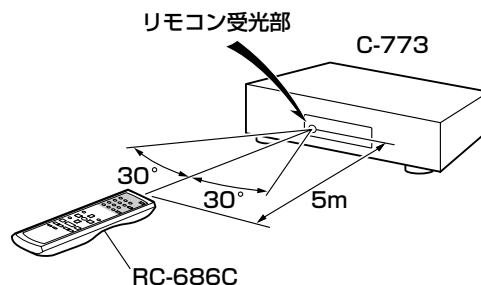
〔　〕内のページに主な説明があります。

# リモコンについて

## 乾電池を入れる

**1. カバーを矢印の方向にずらして開ける**

**2. 中の極性表示にしたがって、付属の乾電池 2 個を＋(プラス)と－(マイナス)を間違えないように入れる**

**3. カバーを戻す**

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して 2 本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単 3 形をご使用ください。

## リモコンの使いかた

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていたり、装飾フィルムを貼っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

# ディスクについての予備知識

## 再生できるディスクについて

本機は以下のディスクに対応しています。

| ディスクの種類 | マーク | フォーマット / ファイルタイプ |
|---|---|---|
| Audio CD | COMPACT disc DIGITAL AUDIO | PCM |
| CD-R | COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable | Audio CD MP3 |
| | COMPACT disc Recordable | MP3 |
| CD-RW | COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable | Audio CD MP3 |
| | COMPACT disc ReWritable | MP3 |
| CD Extra | | Audio CD（Session 1） MP3（Session 2） |

- ディスクレーベル面に上記のマークの入ったものを使用してください。
- 再生可能なディスク以外のディスクを読み込ませたり再生したりしないでください。「ノイズが出る」、「正常に動作しない」などの現象がおきます。

## CD-R/CD-RWの再生について

- 本機は音楽 CD フォーマット、MP3 の音楽データ、が記録された CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」または「音が歪む」などの現象が起きることがあります。
- ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。
  ※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

## MP3の再生について

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。本機が対応しているフォーマットは、Mode 1, Mode 2 XA Form 1 です。
- フォルダは 8 階層まで対応しています。
- MPEG1/MPEG2 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 8kHz から 48kHz、ビットレート 8kbps から 320kbps で記録されたファイルに対応しています（128kbps を推奨しています）。これ以外のファイルは再生できません。
- 固定ビットレートを推奨しますが、可変ビットレート (VBR: Variable Bit Rate) 8kbps から 320kbps で記録されたファイルには対応しています ( ただし再生できる場合でも表示部の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついた MP3 ファイルのみ再生することができます。
- 1 枚のディスクにつき、フォルダとファイルをあわせて 499 個まで認識します。ただし、フォルダは 99 個までです。
  これらを越えるファイルやフォルダは再生できません。また、ファイルやフォルダの構成が複雑な場合は、読み込みや再生ができないことがあります。
- ディスク名、ファイル名、フォルダ名は 32 文字まで認識できます。
- ひとつのファイルで表示できる再生時間は、99 分 59 秒までです。
- 再生残り時間は、表示されません。
- ファイル名、フォルダ名（拡張子除く）は表示部に表示されます。
- エンファシスには対応していません。
- シングルセッションを推奨します。マルチセッションにも対応していますが、ディスクによっては読み込みに時間がかかったり、読み込みできなかったりすることがあります。
- CD Extra の音楽データは再生できますが、MP3 データを再生できるように本機を設定することもできます。ディスクに MP3 データがないときは、設定に関係なく音楽データを再生します。
- ID3 タグ情報は、Version1.0/1.1、2.2/2.3/2.4 に対応しています。Version2.5 とそれ以上は対応していません。
  通常は、本機の「ID3VER 1」の設定にかかわらず、Version2.2/2.3/2.4 を優先します。
- ID3Version2 タグ情報については、ファイルの先頭の情報を認識しますので、タイトル、アーティスト名、アルバム名のみの ID3 タグ情報を推奨します。圧縮されていたり、暗号化されていたり、同期していない ID3 タグ情報は表示されません。
- ID3 タグ情報は、ファイルによっては 31 文字しか表示できないことがあります。

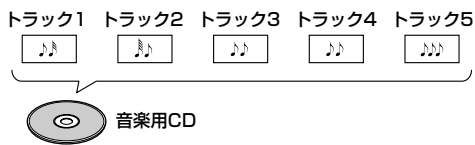


C-773(07-15)(SN29344401).indd 12 07.1.16 4:03:08 PM

# ディスクについての予備知識

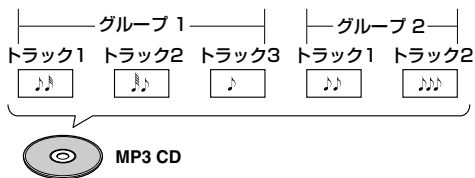
## ディスクに関する用語について

### ■音楽用 CD

**• 音楽用 CD は、「トラック」で区切られています。**

**トラック**：音楽用 CD の内容を曲ごとに区切ったものです。

• 一般的には、1 曲が 1 つのトラックに対応しています。

### ■MP3 CD

フォルダ / ファイルの名前が画面に表示されます。ただし、本機は半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダ / ファイル名は文字化けしたり、[TRACK_001]、[GROUP_001] のように表示されることがあります。



**＊本機では、フォルダをグループと呼び、ファイルをトラックと呼んでいます。**

## ディスクの取り扱いについて

**あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。**

**• 複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽 CD の再生について**

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽 CD の中には、正式な CD 規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

• ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

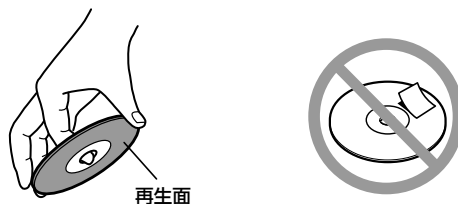
ひび割れ、変形または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って機器の故障の原因となることがあります。

**• レンタル CD の注意について**

CD にセロハンテープやレンタル CD のラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CD が取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

**●取り扱いについて**

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんプリント面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

**●お手入れについて**

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

**●保管上の注意について**

直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところ、極端に温度の低いところや、湿度の高いところはさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

**●結露について**

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約 1 時間放置してからご使用ください。

# 接続をする

## 機器を接続する前に

- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

**オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。**

- 入力端子は赤いコネクターを右チャンネル（R の表示）、白いコネクターを左チャンネル（L の表示）に接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。
- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。

### 光デジタル出力端子について

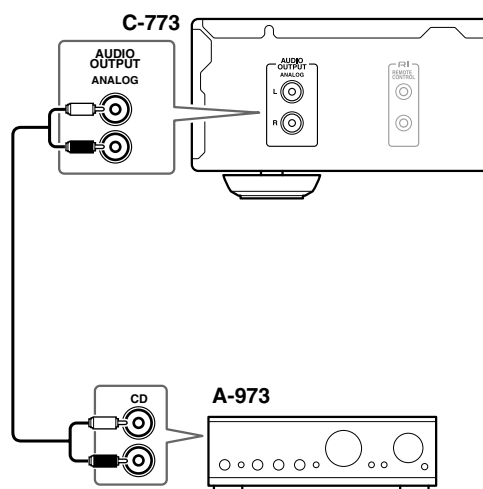
本機の光デジタル出力端子はとびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。

ご注意

光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

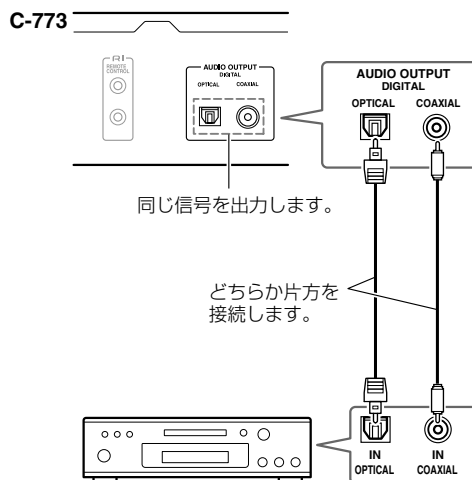
## アンプとアナログ接続をする

**本機の AUDIO OUTPUT ANALOG 端子とアンプのアナログ音声入力端子を接続します。**

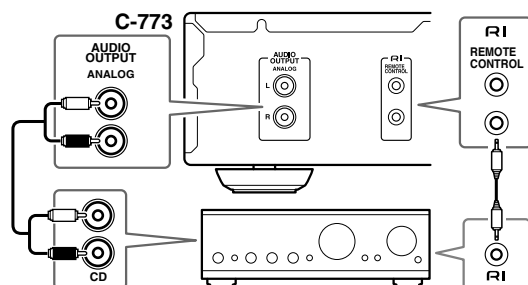
**例：オンキヨー製アンプ（A-973）との接続**

## アンプや録音機器とデジタル接続する

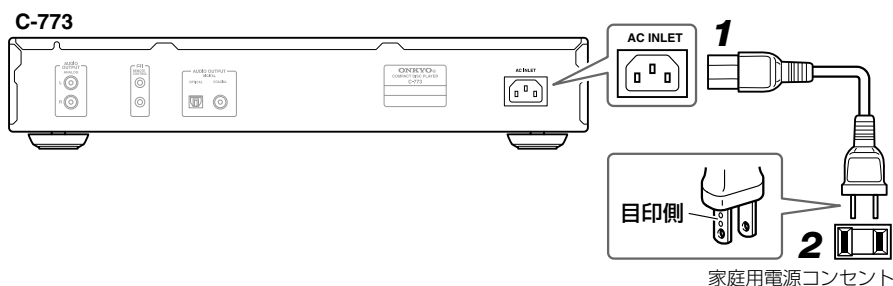
デジタル音声入力端子のあるアンプと接続するときや、デジタル録音するときは、この接続をしてください。

- OPTICAL 端子と COAXIAL 端子は同じ信号を出力します。

**本機の AUDIO OUTPUT DIGITAL 端子とアンプや録音機器のデジタル音声入力端子を接続します。**

## RIケーブルの接続

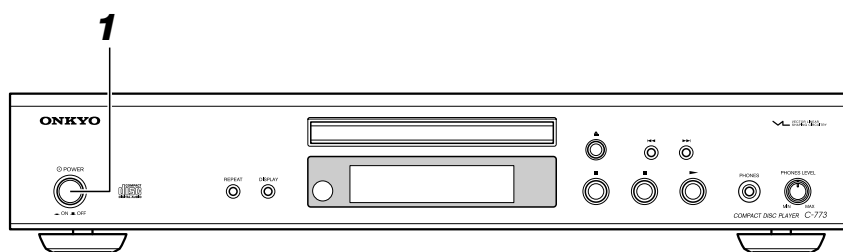
付属のRIケーブルを使ってRI端子の付いたオンキヨー製 AV アンプや AV レシーバーなどを接続すると、AV アンプや AV レシーバーなどに付属のリモコンを使って本機を操作することができます。

- 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。
- RI端子はRI端子付き製品と組み合わせてご使用ください。
- RI端子が 2 つある場合、2 つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- **RI端子の接続だけではシステムとして働きません。**
- **オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。**

# 電源を入れる

## 電源コードを接続する

| | |
|---|---|
| **1** | はじめに、本機の AC INLET(インレット) に本機に付属の電源コードを接続します。 |
| **2** | 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。 |

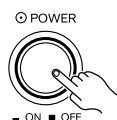
**よりよい音で聞いていただくために**

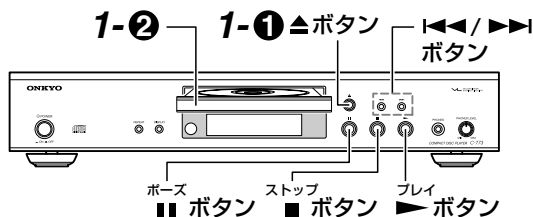
本機の電源コンセントは極性の管理がされています。
電源プラグの目印側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。
家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合はどちらを接続してもかまいません。

## 電源を入れる

| | |
|---|---|
| **1**  | **POWER(パワー) スイッチを「ON(オン)」の位置にする**<br>本機の電源がオンになります。 |

### 本機の電源をオフにするには

POWER ON OFF

POWER(パワー) スイッチを「OFF(オフ)」の位置にします。

# CDやMP3 CD を再生する

## 本体で操作する

**操作の前に**
電源を入れてください。

### 1 CD をセットする

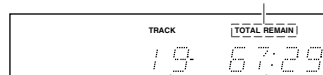
❶⏏ ボタン押して、トレイを開く（オープン/クローズ）

❷CD をトレイに置く

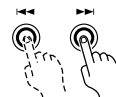
レーベル面を上にしてトレイの上に置きます。
8cmCD のときは、内側のくぼみの中に置きます。

### 2 ► ボタンを押す（プレイ）

トレイが閉まって再生が始まります。

●音楽用 CD

● MP3 CD

## 聞きたい曲を選ぶ

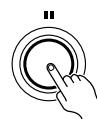
- 再生中に ⏮ ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと 1 曲ずつ前に戻ります。⏭ ボタンを押すと 1 曲ずつ次へ進みます。
- 停止中は ⏮ ボタンを押すと 1 曲ずつ前の曲に戻り、⏭ ボタンを押すと 1 曲ずつ次の曲に進みます。

MP3 CD では、他のグループのトラックを選ぶこともできます。

## 早戻し / 早送りをする

### 再生中に ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押し続ける

⏮ ボタンを押し続けると早戻しを、⏭ ボタンを押し続けると早送りをします。聞きたいところで指を離します。

## 一時停止する

### ❚❚ ボタンを押す（ポーズ）

表示部に ❚❚ 表示が点灯します。もう一度押すか ►（プレイ）ボタンを押すと一時停止したところから再生が始まります。

## 再生を止める

### ■ボタンを押す（ストップ）

## CD を取り出す

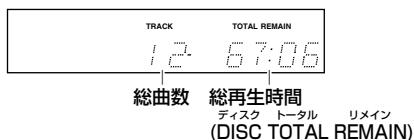
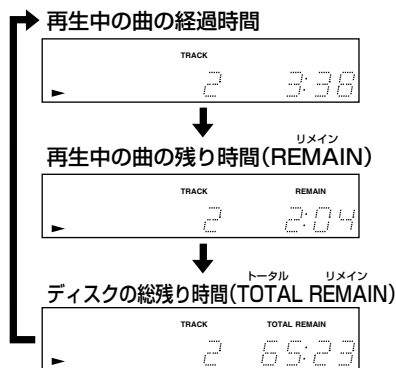
### ⏏ ボタンを押してトレイを開ける（オープン/クローズ）

# CDやMP3 CD を再生する

## リモコンで操作する

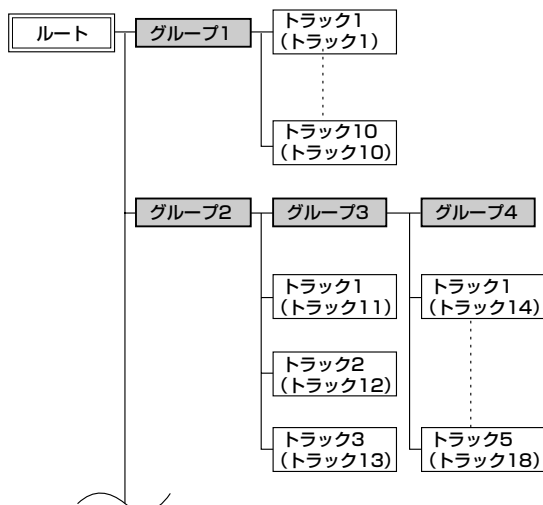
## 表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンの DISPLAY（ディスプレイ） ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

**停止中**

**再生中、一時停止中**

**！ヒント**

MP3 CD の場合の表示は、20 ページをご覧ください。

## MP3 CD でグループ（MP3 ファイル）を選ぶ

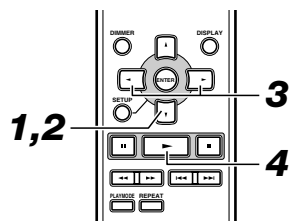
MP3 CDでは、グループ(フォルダ)の中にトラック(MP3ファイル）が入っています。
グループ（フォルダ）の中にさらにグループ（フォルダ）が入っていて、その中にトラック（MP3 ファイル）が入っている場合もあり、下記の例のように階層構造になっています。

**本機では、フォルダを 1 つのグループと見なし、フォルダの中に入っている MP3 ファイルを音楽 CD でいうトラックと考えます。表示や説明に出てくるグループはフォルダを表わし、トラックは MP3 ファイルを表わします。**

再生するときにグループ（フォルダ）もトラック（MP3 ファイル）も選ばなかったときは、上記の（　）内の番号順にトラックを再生します。グループ（フォルダ）を選んでから再生したいトラック（MP3 ファイル）を選ぶには、次の 2 つの方法があります。

**ナビゲーションモード：** グループ（フォルダ）の階層に従って順にグループ（フォルダ）を選択し、トラック（MP3 ファイル）を選びます。

**オールグループモード：** すべてのグループ（フォルダ）が同列に扱われ、階層には関係なく、グループ（フォルダ）を選んで、トラック（MP3 ファイル）を選びます。

リモコンで操作する場合は、停止中に▼ボタンを押すとナビゲーションモードに入り、▲ボタンを押すとオールグループモードになります。
本体で操作する場合は、■ボタンを押すとナビゲーションモードに、■ボタンを 2 秒以上長押しするとオールグループモードになります。
この設定は逆にすることもできます。（☞25 ページ「各設定について」の「STOP KEY」の項をご覧ください。）

### ナビゲーションモードでトラック（MP3 ファイル）を選ぶ

- ランダム再生モードやメモリー再生モード、または 1 グループモードになっているときは、PLAY MODE ボタンを押して解除してください。

**リモコンで操作するには**

**1** 停止中に▼ボタンを押してナビゲーションモードにする

表示部に「ROOT」と表示されます。

**2** さらに▼ボタンを押す

「ROOT」の下の最初のグループ名が表示されます。

グループ名が無いときは、トラック名が表示されます。

**3** ◀/▶ ボタンを押して、同じ階層にあるグループやトラックを選ぶ

- トラックの入っていないグループは選ぶことができません。
- 階層が何段階もある場合は、 ▼ボタンと ◀/▶ ボタンを押す操作をくり返します。
- 1 つ前の階層に戻るには、▲ボタンを押します。
- 途中で選曲をやめるには、■ボタンを押します。

**4** ▶ ボタンを押す

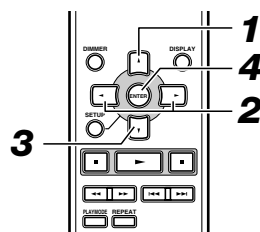
選んだトラックの再生が始まります。

- グループ選択中に ▶ ボタンを押すと、グループのはじめのトラックを再生します。

# CDやMP3 CD を再生する

### 本体で操作するには

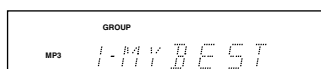
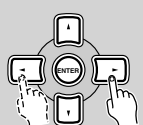
1. 停止中、■(ストップ)ボタンを押して表示部に「ROOT(ルート)」と表示させる
2. ▶(プレイ)ボタンを押すと「ROOT」の下の最初のグループ名が表示される
3. ⏮/⏭ ボタンでグループを選ぶ
4. ▶(プレイ)ボタンを押す
   グループの階層がいくつもある場合は、手順 ***3*** 、***4*** をくり返します。
5. トラックが表示されたら、 ⏮/⏭ ボタンでトラックを選ぶ
   1 つ前の階層に戻るには、■(ストップ)ボタンを押します。
6. ▶(プレイ)ボタンを押して再生を始める

## *オールグループモードでトラックを選ぶ*

● ランダム再生モードやメモリー再生モード、1 グループモードになっているときは、PLAY(プレイ) MODE(モード) ボタンを押して解除してください。

### リモコンで操作するには

**1**

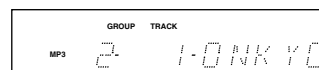
**停止中に▲ボタンを押す**

表示部に「1 －　」と表示されます。

**2**

**◀/▶ ボタンを押して、グループを選ぶ**

トラックの入っているグループを選ぶことができます。
選んだグループの最初のトラックから再生したいときは手順 ***4*** へ進んでください。

**3**

**▼ボタンを押す**

グループ内の最初のトラックの名前が表示されるので ◀/▶ ボタンで再生したいトラックを選んでください。

● 他のグループを選びたいときは、▲ボタンをもう 1 度押すと手順 ***2*** からやり直すことができます。
● 途中で選曲をやめるには■(ストップ)ボタンを押します。

**数字ボタンでグループやトラックを選ぶには**

オールグループモードのときに使用できます。

① 例のように数字ボタンを押してグループ番号を入力します。
　停止中の場合は、グループ内の最初のトラックの再生が始まります。

② 数字ボタンでトラック番号を入力します。
　トラックの再生が始まります。

グループにより 100 個以上のトラックが入っている場合、次のように選曲します。

**例）**

32 曲目：>10、10/0、3、2
132 曲目：>10、1、3、2

**4**

**ENTER(エンター) ボタンを押す**

選んだトラックまたはグループの再生が始まります。

● ▶(プレイ)ボタンを押して再生を始めることもできます。

### 本体で操作するときは

1. 停止中、表示が変わるまで（約 2 秒間）■(ストップ)ボタンを長押しする
2. ⏮/⏭ ボタンでグループを選ぶ
3. ▶(プレイ)ボタンを押す
4. ⏮/⏭ ボタンでトラックを選ぶ
   1 つ前の階層に戻るには、■(ストップ)ボタンを押します。
5. ▶(プレイ)ボタンで再生を始める

## 再生中に他のグループを選ぶ（サーチモード）

**1**

SEARCH

### 再生中にリモコンの SEARCH（サーチ）ボタンを押す

表示部が点滅します。

**2**

### 数字ボタンでグループ（フォルダ）番号を入力する

例）
3 番目のグループ： ③
25 番目のグループ：>10、②、⑤

選んだグループ（フォルダ）名が表示部に表示されます。

⏮/⏭ ボタンまたは ◀/▶ ボタンでグループを選ぶこともできます。

**3**

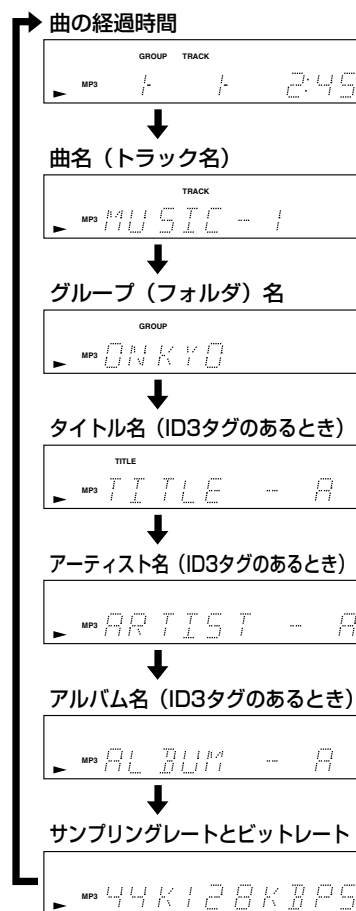
ENTER

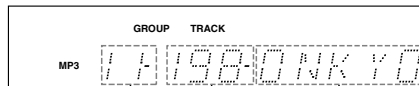
### ENTER（エンター）ボタンを押す

選んだグループの 1 曲目から再生が始まります。

## 表示部の情報を切り換える

本体　DISPLAY
リモコン　DISPLAY

MP3 CD 再生中は DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すたびに以下のように切り換ります。

＊ ID3 タグがないときは、「TITLE-NO DATA」のように表示されます。

MP3 ディスク停止中は、以下のような表示になります。DISPLAY ボタンを押すと、ディスク名表示に切り換わります。

＊ 収録グループ数　収録曲数　ディスクの名前（先頭5文字を表示）

＊ GROUP（グループ）表示はフォルダを表します。

- 表示できない文字は、下線で表示します。
- 表示できない文字を含んでいるときは番号で表示するように設定することもできます。

（☞25 ページ「BAD NAME（バッド ネーム）」）

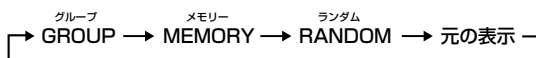
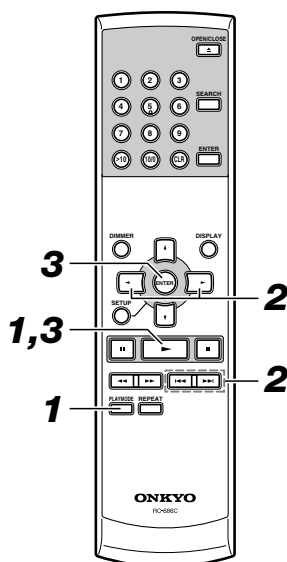


C-773(16-20)(SN29344401).indd 20　07.1.16 4:03:33 PM

# いろいろな再生

プレイモードには次のようなものがあります。
- 1 グループ再生（MP3 CD のみ）
- ランダム再生
- メモリー再生

PLAY MODE ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

→ GROUP → MEMORY → RANDOM → 元の表示

## 1 つのグループだけ再生する（MP3 CD のみ）

1 つのグループを指定して再生します。

**1**

**PLAY MODE ボタン（くり返し）押して、「GROUP」だけを点灯させる**

GROUP表示点灯

**2**

または

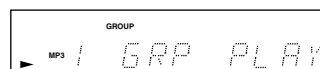
**⏮/⏭ ボタンまたは ◀/▶ ボタンでグループを選ぶ**

MP3 の入っているグループを選ぶことができます。

**3**

または

**ENTER ボタンまたは ▶ ボタンを押す**

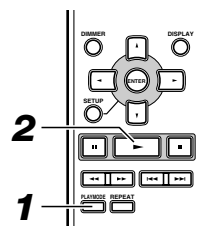
「1 GRP PLAY」と表示され、選んだグループの再生が始まります。

そのグループの最後のトラックの再生が終わると停止します。

### 解除するには

- ■ ボタンを押して再生を停止すると、解除されます。
- ディスクを取り出したときにも解除されます。

## ランダム再生

曲順をランダムに並べかえて、全曲を 1 通り再生します。

**1**

**停止中に PLAY MODE ボタンを（くり返し）押して、「RANDOM」を表示する**

RANDOM表示点灯

**2**

**▶ ボタンを押す**

ランダム再生が始まります。

再生の曲番

### ランダム再生を解除するには

- 停止させてから PLAY MODE ボタンを押して再生モードを切り換えると、RANDOM 表示は消えてランダム再生は解除されます。
- ディスクを取り出したときや電源を切ったときも解除されます。

## メモリー再生（音楽 CD の場合）

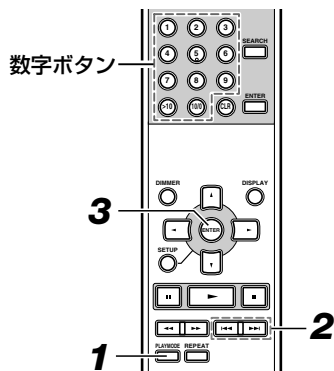
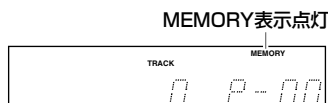
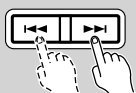
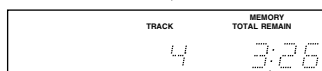
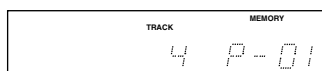
曲を指定し（25 曲まで）、その順序で再生します。

停止状態にしてから操作します。

### 1

**PLAY MODE ボタンを（くり返し押して、「MEMORY」を表示する**

MEMORY表示点灯

### 2

**⏮/⏭ ボタンでトラックを選び、ENTER ボタンを押す**

予約曲番　予約曲の合計再生時間

- 次の曲を選ぶときはこの手順をくり返します。
- ⏮/⏭ ボタン、ENTER ボタンを押すかわりに、リモコンの数字ボタンを使って操作することもできます。

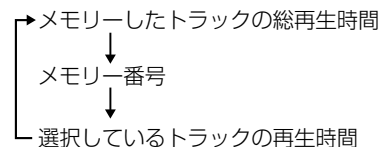
**登録した曲を削除するには**

CLR ボタンを押します。押すたびに最後に登録した曲から削除されます。

ご注意

- 総再生時間が 99 分 59 秒を越える場合は、「- - : - -」と表示されます。
- 最大 25 曲まで登録できます。それを越えて登録しようとすると「MEM Full」と表示され、これ以上登録できないことを表します。

**表示を切り換えるには**

メモリー設定中に DISPLAY ボタンを押すと、表示部の情報を次のように切り換えることができます。

### 3

**ENTER ボタンを押す**

再生中の曲番

メモリー再生が始まります。

- 本体の ► ボタンを押して再生を始めることもできます。

#### 予約した曲の中で選曲する

再生中に ⏮/⏭ ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

#### 予約した内容を確認するには

停止中に ◀◀/▶▶ ボタンを押して予約内容を確認できます。

#### 予約した曲を取り消すには

- メモリー再生モードの停止中に、リモコンの CLR ボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- PLAY MODE ボタンを押して、一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

#### 解除するには

- 停止させてから PLAY MODE ボタンを押して再生モードを切り換えると、MEMORY 表示は消えて、メモリー再生は解除されます。
- ディスクを取り出したときや電源を切ったときも解除されます。

## メモリー再生（MP3 CD の場合）

### ナビゲーションモードでメモリー再生をする

停止状態にしてから操作します。

**1** 

**PLAY MODE ボタンを（くり返し）押して、「MEMORY」表示を点灯させる**

**2** 

**▼ボタンを押す**

表示部に「ROOT」が表示され、ナビゲーションモードになります。

**3** 

**▼ボタンをもう一度押す**

**4** 

**◀/▶ ボタンで同じ階層にあるグループやトラックを選ぶ**

- トラックの入っていないグループは選ぶことができません。
- 階層が何段階もある場合は、手順 ***3***、***4*** をくり返します。

**5** 

**トラックを選んだら、ENTER ボタンを押す**

1 つ目のトラックがメモリーされます。

**6** 

**▲ / ▼ /◀/▶ ボタンで続けてメモリーするトラックを選ぶ**

▲ボタンを押すたびに 1 つ階層を戻すことができます。続けて手順 ***4***、***5*** を行い、順にメモリーします。

- 同じグループにある別のトラックをメモリーするときは、▲ボタンを押す必要はありません。

**7** 

または

**▶ ボタンまたは ENTER ボタンを押す**

メモリー再生が始まります。

### オールグループモードでメモリー再生をする

**1** 

**PLAY MODE ボタンを（くり返し）押して、「MEMORY」表示を点灯させる**

**2** 

**▲ボタンを押す**

表示部に「1—」が表示され、オールグループモードになります。

**3**

**◀/▶ ボタンでグループを選ぶ**

**4** 

**▼ボタンを押す**

**5** 

**◀/▶ ボタンでトラックを選ぶ**

**6** 

**ENTER ボタンを押す**

1 つ目のトラックがメモリーされます。

**7** 

**▲ボタンを 1 回押して、手順 *3* ～ *6* をくり返す**

同じグループのトラックを続けてメモリーするときは、手順 ***5***、***6*** をくり返します。

**8**

または

**▶ ボタンまたは ENTER ボタンを押す**

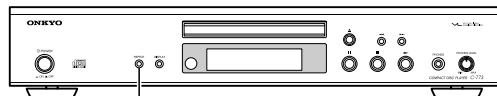
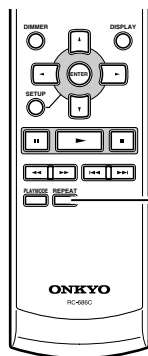
メモリー再生が始まります。

**表示を切り換えるには**

メモリー設定中に DISPLAY ボタンを押すと、表示部の情報を次のように切り換えることができます。

→ トラックネーム → グループネーム → メモリー番号 ─┘

## リピート／1TR リピート再生

- リピート再生は CD をくり返し再生します。
- 1TR リピート再生は 1 曲をくり返し再生します。
- リピート再生はメモリー再生、ランダム再生や通常の再生と組み合わせて使うことができます。1TR リピート再生は通常再生のみ組み合わせて使うことができます。
- MP3 CD では、1 グループ再生とリピート再生を組み合わせて使うことができます。

REPEATボタン

REPEATボタン

### REPEAT ボタンを（くり返し）押して、「REPEAT 1」または「REPEAT ALL」を表示する

リピート表示点灯

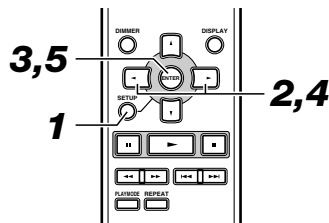
リピートまたは 1TR リピート再生モードになります。

#### リピート、1TR リピート再生を解除するには

- REPEAT ボタンを（くり返し）押して、「REPEAT OFF」にすると、リピート、1TR リピート再生は解除されます。（⮎ 表示消灯）
- ディスクを取り出したときや電源を切ったときも解除されます。

# MP3に関する設定

## MP3 に関する設定をする

MP3 ファイル情報の表示方法を選択したり、MP3 CD の再生方法などを設定することができます。

停止状態にしてから操作します。

**1** SETUP ボタンを押す

**2** ◀/▶ ボタンで変更したい項目を選ぶ

MP3 DISC NAME

各項目についての詳細は、次ページの項目をご覧ください。

**3** ENTER ボタンを押す

**4** ◀/▶ ボタンで設定したいモードを選ぶ

途中で止めたいときは、SETUP ボタンを押してください。

**5** ENTER ボタンを押す

「COMPLETE」（完了）が表示され、通常の表示に戻ります。

## MP3に関する設定

### DISC NAME（ディスク名）

MP3 ディスクのとき、ディスク名を表示するかどうかを設定します。お買い上げ時の設定は「DISPLAY」です。

**DISPLAY**：ディスク名を表示します。
**NOT**：ディスク名を表示しません。
（MP3 と表示されます。）

### TRACK NAME（トラック名）

MP3 ディスクのとき、曲名をスクロール表示するかどうかを設定します。
ただし、ナビゲーションモード時は、この設定にかかわらず曲名がスクロールします。
お買い上げ時の設定は「SCROLL」です。

**SCROLL**：曲名をスクロール表示します。
**NOT**：曲名をスクロール表示しません。

### GRP NAME（グループ名）

MP3 ディスクのとき、グループ名（フォルダ名）をスクロール表示するかどうかを設定します。
ただし、ナビゲーションモードの時は、この設定にかかわらずグループ名がスクロールします。
お買い上げ時の設定は「SCROLL」です。

**SCROLL**：グループ名（フォルダ名）をスクロール表示します。
**NOT**：グループ名（フォルダ名）をスクロール表示しません。

### BAD NAME

曲名やグループ（フォルダ）名に、表示できない文字が含まれているときの表示のさせかたを設定します。
ID3 タグ情報については設定に関係なく表示できない文字を下線で表示します。お買い上げ時の設定は「NOT」です。

**REPLACE**：「TRACK ＊」や「GROUP ＊」（＊は曲番 / グループ（フォルダ）番号）という表示に置き換えて表示させます。
**NOT**：表示できる文字は表示し、できない文字は下線で表示します。

### ID3 VER. 1

ID3 Version1.0/1.1 のタグ情報の表示について設定します。
お買い上げ時の設定は「READ」です。

**READ**：情報を読み込んで表示させます。
**NOT**：表示させません。

### ID3 VER. 2

ID3 Version2.2/2.3/2.4 のタグ情報の表示について設定します。お買い上げ時の設定は「READ」です。

**READ**：情報を読み込んで表示させます。
**NOT**：表示させません。

### CD EXTRA

CD Extra ディスクの再生について設定します。
お買い上げ時の設定は「AUDIO」です。

**AUDIO**：音楽データを再生します。
**MP3**：MP3 データを再生します。

### JOLIET

JOLIET 形式で記録された MP3 の SVD(Supplementary Volume Descriptor) データを読み込むか、ISO9660 形式として読み込むかを設定します。通常は設定を変える必要はありません。SVD は、アルファベットと数字以外に、長いファイル名 / グループ（フォルダ）名や文字をサポートしています。お買い上げ時の設定は「USE SVD」です。

**USE SVD**：SVD（Supplementary Volume Descriptor）データを読み込みます。
**ISO9660**：ISO9660 形式として読み込みます。

### HIDE NUM

曲名やグループ（フォルダ）名の先頭に番号がついている場合、番号表示を隠すことができます。
お買い上げ時の設定は「DISABLE」です。

**DISABLE**：番号表示を隠す機能を設定しません。
（番号は表示されたままです。）
**ENABLE**：番号表示を隠す機能を設定します。
（番号表示は無しになります。）

下表は、DISABLE/ENABLE を選んだときにどのように表示されるかの例です。

| トラックやグループの名前 | DISABLE を選んだとき | ENABLE を選んだとき |
|---|---|---|
| 01 POPS | 01 POPS | POPS |
| 10-ROCK | 10-ROCK | ROCK |
| 16_JAZZ | 16_JAZZ | JAZZ |
| 21TH CENTURY | 21TH CENTURY | 21TH CENTURY |
| 05-07-20 ALBUM | 05-07-20 ALBUM | ALBUM |

### STOP KEY

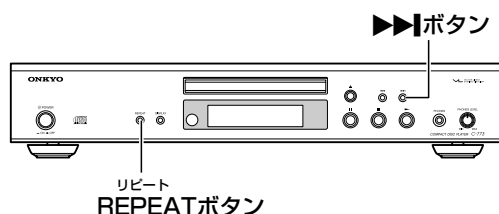
本体の■ボタンを押したときと 2 秒以上押したときの設定を変えます。
お買い上げ時の設定は「NAVIGATION」です。

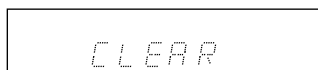
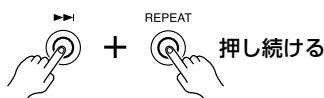
**ALL GRP**：■ボタンを 1 回押したときはオールグループモードになり、2 秒以上押したときはナビゲーションモードになります。
**NAVIGATION**：■ボタンを 1 回押したときはナビゲーションモードになり、2 秒以上押したときはオールグループモードになります。
**DISABLE**：■ボタンを押しても、ナビゲーションモードにもグループモードにもなりません。停止ボタンとしてのみ働きます。

# 困ったときは

まず下記の内容を確認してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

**！ヒント** 修理を依頼される前に

## すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

本機が動作しなくなったり、操作ができなくなったときは、本機のマイコンをリセットしてすべての内容をお買い上げ時の設定に戻すことで、トラブルが解消されることがあります。
修理を依頼される前に、下記の手順でマイコンをリセットしてみてください。

**電源を入れた状態で ▶▶❙ ボタンを押したまま、REPEAT（リピート） ボタンを押してください。**

表示部に「CLEAR（クリア）」と表示されたあと、CD の読み込み（READING）を始めます。

### 電　源

**電源が入らない**

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。〔15 ページ〕

### ディスクの再生

**ディスクの再生ができない**

- ディスクはディスクトレイに正しくセットされていますか？
  ディスクの印刷面を上にしてディスクトレイに置いているか確認してください。〔16 ページ〕
- ディスクは汚れていないか確認してください。〔13 ページ〕
- 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。〔12 ページ〕
- 結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約 1 時間放置してからご使用ください。〔13 ページ〕

**ディスクの再生順序通りに再生できない**

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の特別な再生モードを解除してください。〔21 ～ 24 ページ〕

**選曲時間 ( 指定の曲を探し出す時間 ) が極端に長い**

- ディスクが汚れていませんか？ディスク表面をクリーニングしてください。ディスクにキズがある場合、ディスクを取り替えてください。〔13 ページ〕

**曲をメモリーさせることができない**

- ディスクは正しくディスクトレイにセットされていますか？ディスクにない曲番をメモリーさせようとしていませんか？〔16 ページ〕

**メモリー再生 / 解除ができない**

- ランダム表示は点灯していませんか？ PLAY MODE ボタンを押してランダム再生を解除してからメモリー再生 / 解除を行ってください。〔21 ページ〕

### 複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用 CD の再生

**再生時に雑音が入ったり、音飛びする / ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る /1 曲目を再生しない / 頭出しに通常よりも時間がかかる / 曲の途中から再生する / 再生できない箇所がある / 再生の途中で停止する / 誤表示する**

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用 CD です。コピーコントロール機能のついた音楽用 CD の中には、CD 規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

# 困ったときは

**音　声**

**再生しているディスクの音声が出てこない**

- 接続コードがしっかり差し込まれているか確認してください。〔14 ページ〕
- 接続した機器の入力端子や入力設定を間違えていないか確認してください。
- アンプのボリュームが最小になっていないか確認してください。

**雑音が出る**

- 他のデジタル機器から影響を受けている可能性があります。一度、周辺機器の電源スイッチを切って、雑音源を確かめてみてください。そのうえで本機を雑音の出る機器から離してください。

**各種設定**

**表示されない設定項目がある**

- 停止中でも曲が選択されているときは、■（ストップ）ボタンを押して本機を完全に停止状態にしてください。〔16 ページ〕

**リモコン**

**本体のボタンは働くが、リモコンのボタンが働かない**

- 電池を 2 本とも新しいものと交換してみてください。〔11 ページ〕
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？リモコンと本体の間に障害物がありませんか？〔11 ページ〕
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？〔11 ページ〕
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていたり、装飾フィルムを貼っていると、正常に機能しないことがあります。〔11 ページ〕

- **本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約 10 秒以上放置してから電源プラグを接続してください。**

- **製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CD レンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。**

# 主な仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 周波数特性 | 4Hz ～ 20kHz |
| S N 比 | 106dB |
| ダイナミックレンジ | 100dB |
| 全高調波歪率 | 0.0029% |
| 出力電圧 / インピーダンス | − 22.5dBm（光デジタル出力）<br>0.5V(p-p)/75 Ω（同軸デジタル出力）<br>2.0V(rms)/600 Ω（アナログ出力） |
| 電源・電圧 | AC100V、50/60Hz |
| 消費電力 | 13W |
| 最大外形寸法 | 435（幅）× 81（高さ）× 315（奥行）mm |
| 質量 | 4.4kg |
| 許容動作温度 / 湿度 | 5 ～ 35℃ /5 ～ 85%（結露のないこと） |
| 再生可能ディスク | 音楽 CD、CD-R/CD-RW*、MP3 CD<br>＊ファイナライズの状態によっては、再生できない場合があります。 |

仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

# 修理について

## ■保証書
この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

## ■調子が悪いときは
意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

▶お名前

▶お電話番号

▶ご住所

▶製品名　C-773

▶できるだけ詳しい故障状況

## ■オンキヨー修理窓口について
詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内」をご覧ください。

## ■保証期間中の修理は
万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

## ■保証期間経過後の修理は
お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

## ■補修用性能部品の保有期間について
本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低 8 年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　　(　　)
メモ：

ONKYO®
オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　9：30〜17：30
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

G0701-1

SN 29344401